

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年 6月3日

事業所名 がじゅまるハウス

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5				・定員より多く利用がある場合は見守りの職員を増やし安全面を考慮する。
	2	職員の配置数は適切である	4	1		常勤:5名 非常勤:1名配置	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5			・段差の無い作りになっている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	1	1	・イベントがあった際には振り返りを行い、情報共有している。	・目標設定や計画が不十分。職員全体で意識を持って取り組む。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			・年に1回事業所評価アンケートを行っている。 ・保護者とコミュニケーションをとるよう心掛けている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1	1	・年に1回ホームページで公表している。 ・コドモンにて保護者に周知している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2		3		・地域の区長等に外部評価を行ってもらえるか検討している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			・業務、人員配置に影響がでないように行っている。 ・研修で学んだことを日々の支援に活かしている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			・児童発達支援管理責任者が中心となって作成している。	・職員への共有をこまめに行う必要がある。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5				・職員への共有をこまめに行う必要がある。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1	1		・児童が興味があることを中心に活動している。定期的に個別支援等を行うことを検討している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	2			・様々なことに興味を持てるように環境作りをする必要がある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	4		・課外活動を取り入れるようにしている。	・長期休暇の課題設定を細やかにしていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1			・集団活動を中心に行っている。定期的に個別支援を行うことを検討している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1	1	・毎朝申し送りをし、その日の利用状況、送迎、活動内容などを共有している。	・役割分担については工夫が必要。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2		3	・その日の児童の活動や様子をメモ用紙に記録している。	・終業時間に送迎が終わるので、翌日に申し送りを行っている。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5				・記録した内容に関して職員間での情報共有もこまめに行う必要がある。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			・記録を元に児童の様子を話し合い、支援計画を見直している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	1		・保護者の要望や児童が興味がある事を中心に支援している	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			・児童発達支援管理責任者が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			・モニタリングの際に児童の連絡帳を確認している。 ・ホームページ等で行事を確認している。	・学校によっては情報共有が十分ではない。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	1	2		・現在、対象児はいないが、今後、受け入れる場合には、関係機関と連携し、支援を行う。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2		・支援会議等で情報共有している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5			・相談員を含めて情報提供を行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			・同じ地域の事業所と連携を取っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5			・同じ敷地に学童があるので毎日関わっている。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5			・こども部会に年に3回参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			・送迎時に様子を伝え合っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2		3		・保護者会等でペアレント・トレーニングを取り入れて開催できるように調整する。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			・契約時に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			・送迎時にコミュニケーションを取るように心掛けている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3		2	・地域の事業所と連携を取り、保護者を招いて、ゆんたく会を開催した。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			・申し入れがあった際には職員間で共有し、必要に応じて管理者から代表に相談、保護者対応を早急に行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			・毎月、通信を発行している。	
	35	個人情報に十分注意している	5			・鍵付きのロッカーで保管している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				・絵カード等のツールも使用する。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1		4	・地域の祭りで事業所の活動内容の展示を行っている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5				・保護者への周知が十分ではない。保護者会等を開催し周知する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			・年に2回避難訓練を行っている。 ・救急救命講習を受講している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			・年に1回研修を行いレポートを提出している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			・虐待防止研修と合わせて身体拘束等の適正化研修も行っている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5				・現在、アレルギーのある児童はいない。 ・対象児がいた場合は保護者から指示書を提出してもらう。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	1	1	3	・危険な事例があった場合は申し送り等で報告している。	・作成しているが、周知や活用ができていない。